

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2021年3月号」

あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々があなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

マタイによる福音書 5章 16節

街角の花々に春の訪れを感じるようになりました。新型コロナウイルス感染症対策のためか、インフルエンザの流行がないままに春を迎えようとしていますが、今年度も残りわずかとなり最後のまとめの時期に入ります。どうか最後まで体調管理に気をつけて元気に過ごすようにしてください。

3学期予定されていた行事のうち、ブレインオリンピックと、なわとびチャレンジ大会は学級ごとに行われることになりました。すでに実施した学級もあると思います。学習の成果や成長のようすを動画で配信する学年もありますので、ご覧になってください。5年生のヒストリーツアー、6年生のウイングツアーも、緊急事態宣言の延長がない限り、5年生は長崎市内、6年生は秋吉台・秋芳洞と下関海響館に、日帰りで行ってきます。当初の計画通り実施できないことを思うと残念な気持ちでいっぱいですが、今は中止という事態だけは何とか避けられることを願うのみです。

ところで、例年通りであればブレインオリンピックは、学級で予選を行い、決勝は代表チーム同士で行われ、決勝は校長・教頭が判定するようになっていました。今年は、学級単位だったため担任による判定となりましたが、6年生は最後ということもあって、私も判定に加わりました。判定する以上は、前もって解いておく必要があったのでチャレンジしましたが、何とか答は出したものの、固くなった頭にはなかなか手ごわい問題でした。当日子どもたちはグループで問題に取組み、予想していたより多くのグループが正解を出すことができ感心しましたが、毎年のことながら「分かりやすく説明する」というハードルは答を出す以上に高かったようです。

頭の中で考えているだけの場合には、少しあいまいなところがあっても答にたどりつくことがあります。しかし、話すにせよ書くにせよ、言葉として表すときには、あいまいなところがあったままではうまくいきません。更に、分かりやすく表現するためには、順序や言葉の選び方などにも配慮することが必要です。ということは、話したり書いたりすることで、より考えを深めたり整理したりすることができる、つまり思考と表現は一体的なものであると言えるのかもしれない。

学習に限らず、正しいことを分かりやすく伝えることは大切なことです。最近では、多くの情報が映像(画像)化され「分かりやすく」なってきましたが、そうした「分かりやすさ」に慣れてしまうと、複雑なことや、本質的なことを伝える力も、それを受け取る力も弱くなってしまっているのではないかと思います。

作文や感想文などの書くことに関するコンクールで、本校の子どもたちは優秀な成績を収めており、特に青少年読書感想文全国コンクールにおいては、毎年全国審査に選ばれる子どもが出ています。考えながら読み、読みながら考え、考えながら書き、書きながら考える。そのプロセスにおいて、思考力・表現力が鍛えられ伸びていくことでしょう。これからも、すべての子どもが「読むこと」と「書くこと」を通して力をつけていってくれることを願っています。

文責 宮崎 隆一